統計ヘッドライン
- 統計局月次レポート -

< 目次 >

目次  ................................................................. 1
平成 00 年 00 月の主要指標  ........................................ 2
結果のポイント解説
  労働力調査（平成 00 年( 0000 年)00 月分） .................................. 3
  消費者物価指数(全国)（平成 00 年( 0000 年)00 月分） .......... 4
  家計調査（平成 00 年( 0000 年)00 月分） ............................. 5
  サービス産業動向調査（平成 00 年( 0000 年)9 月分（速報）） .... 6
  人口推計
（平成 00 年( 0000 年)6 月1日現在推定値及び平成 00 年( 0000 年)00 月1日現在推定値） ....... 7
  住民基本台帳人口移動報告（平成 00 年( 0000 年)00 月分） .......... 8
  個人企業経済調査（平成 00 年( 0000 年)7～9 月期結果（速報）） ... 9
主要統計時系列データ .................................................... □□
今月のメッセージ
  東京都の外国人は転出超過？！
  ～住民基本台帳人口移動報告の結果から～ ........................... □□
公表予定 ................................................................. □□
利用案内 ................................................................. □□
平成30年（2018年）10月の主要指標

○ 完全失業率（季節調整値）は2.4%と、前月に比べ0.1ポイントの上昇
完全失業者は163万人。季節調整値でみると、前月に比べ8万人の増加
就業者は6725万人。季節調整値でみると、前月に比べ23万人の増加
正規の職員・従業員は前年同月に比べ37万人の増加、非正規の職員・従業員は115万人の増加

○ 全国の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月に比べ1.0%の上昇
前月から上昇幅は変わらず（最も上昇に寄与したのはガソリンや電気代などの「エネルギー」。外食などの「生鮮食品を除く食料」なども上昇）

○ 二人以上の世帯の消費支出は、前年同月に比べ実質0.3%の減少（変動調整値※）
私立大学などの「授業料等」や航空運賃などの「交通」などが増加
住宅リフォームなどの「設備修繕・維持」や生鮮野菜などの「食料」などが減少
季節調整値で消費支出の前月からの動きをみると、前月比は実質1.8%の増加
※ 調査方法の変更の影響による変動を調整した推計値

労働力調査
- 完全失業者数は前年同月に比べ18万人の減少（101か月連続の減少）
完全失業率（季節調整値）は2.4%と、前月に比べ0.1ポイントの上昇

消費者物価指数
- 全国の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、101.6（2015年（平成27年）=100）と前年同月に比べ1.0%の上昇

家計調査
- 二人以上の世帯の消費支出は、29.0万円。前年同月に比べ変動調整値で実質0.3%の減少
消費支出の対前年同月実質増減率の推移（二人以上の世帯）

※ 2018年1月以降は変動調整値
【結果のポイント解説】

労働力調査
－ 平成30年（2018年）10月分 平成30年11月30日公表－

【就業者数】
就業者数は、6725万人と前年同月に比べ144万人の増加

主な産業別就業者数は、前年同月に比べ「宿泊業，飲食サービス業」，「学術研究，専門・技術サービス業」，「医療，福祉」などが増加

（主な産業別の動向）
農業，林業………………………………… 213万人と，前年同数
建設業……………………………………… 497万人と，8万人減少
製造業……………………………………… 1052万人と，8万人減少
情報通信業………………………………… 232万人と，1万人増加
運輸業，郵便業…………………………… 341万人と，1万人増加
卸売業，小売業…………………………… 1088万人と，9万人増加
学術研究，専門・技術サービス業……… 246万人と，16万人増加
宿泊業，飲食サービス業…………………… 439万人と，52万人増加
生活関連サービス業，娯楽業…………… 242万人と，4万人増加
教育，学習支援業……………………… 328万人と，4万人増加
医療，福祉………………………………… 837万人と，15万人増加
サービス業（他に分類されないもの）… 447万人と，14万人増加

【完全失業者数】
完全失業者数は，163万人と前年同月に比べ18万人の減少

（求職理由別の動向）
定年又は雇用契約の満了…………………… 17万人と，1万人減少
勤め先や事業の都合……………………… 20万人と，13万人減少
自発的な離職（自己都合）………………… 71万人と，6万人減少
学卒未就職………………………………… 6万人と，1万人増加
収入を得る必要が生じたから…………… 17万人と，9万人減少
その他……………………………………… 16万人と，2万人減少

【完全失業率（季節調整値）】
完全失業率（季節調整値）は，2.4％と前月に比べ0.1ポイントの上昇

・男性は，2.7％と前月に比べ0.3ポイントの上昇
・女性は，2.2％と前月に比べ0.1ポイントの低下

図1 就業者の対前年同月増減と就業率の対前年同月ポイント差の推移
図2 完全失業者の対前年同月増減と完全失業率（季節調整値）の推移
消費者物価指数（全国）
— 平成30年（2018年）10月分 平成30年11月22日公表 —

【総合指数、生鮮食品を除く総合指数、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数】
総合指数の前年同月比は、9月1.2%→10月1.4%と上昇幅は0.2ポイント拡大

生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は、9月0.4%→10月0.4%と上昇幅は変わらず

総合指数の前年同月比に寄与した項目

【主な内訳】
10大費目
中分類、前年同月比(寄与度) 品目、前年同月比(寄与度)

上昇
食料
生鮮野菜 20.4%(0.37) ねぎ 34.5%(0.04) など
生鮮果物 8.3%(0.08) ぶどう 17.9%(0.03) など
外食 1.0%(0.05) ビール（外食） 1.7%(0.01) など
光熱・水道
電気代 4.5%(0.15)
ガス代 3.2%(0.05) しばしばガス代 3.9%(0.04) など
保健医療
保健医療サービス 1.9%(0.05)
交通・通信
自動車等関係費 4.6%(0.38) ガソリン 17.8%(0.36) など
教養娯楽
教養娯楽サービス 1.5%(0.09) 外国パック旅行費 15.4%(0.07) など
諸雑費
たばこ 8.6%(0.04) たばこ（国産品） 8.8%(0.03) など

下落
交通・通信
通信 -2.7%(-0.10) 通信料（携帯電話） -4.2%(-0.09) など

10大費目の前年同月比及び寄与度

<table>
<thead>
<tr>
<th>費目</th>
<th>原数値</th>
<th>102.0</th>
<th>101.6</th>
<th>101.4</th>
<th>100.7</th>
<th>101.3</th>
<th>100.3</th>
<th>100.0</th>
<th>100.2</th>
<th>100.0</th>
<th>100.3</th>
<th>101.6</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>前年同月比</td>
<td>(1.2)</td>
<td>(1.1)</td>
<td>(0.4)</td>
<td>(0.1)</td>
<td>(1.8)</td>
<td>(5.6)</td>
<td>(1.0)</td>
<td>(0.1)</td>
<td>(3.7)</td>
<td>(1.0)</td>
<td>(1.1)</td>
<td>(2.1)</td>
</tr>
<tr>
<td>寄与度</td>
<td>1.4</td>
<td>1.0</td>
<td>0.4</td>
<td>0.2</td>
<td>2.0</td>
<td>10.8</td>
<td>0.9</td>
<td>0.2</td>
<td>4.4</td>
<td>1.0</td>
<td>1.1</td>
<td>1.9</td>
</tr>
<tr>
<td>前年同月比</td>
<td>(0.91)</td>
<td>(0.31)</td>
<td>(0.07)</td>
<td>(0.47)</td>
<td>(0.25)</td>
<td>(0.23)</td>
<td>(0.02)</td>
<td>(0.00)</td>
<td>(0.00)</td>
<td>(0.00)</td>
<td>(0.00)</td>
<td>(0.00)</td>
</tr>
<tr>
<td>寄与度</td>
<td>0.96</td>
<td>0.32</td>
<td>0.11</td>
<td>0.65</td>
<td>0.45</td>
<td>0.29</td>
<td>0.03</td>
<td>0.31</td>
<td>0.03</td>
<td>0.01</td>
<td>0.05</td>
<td>0.28</td>
</tr>
<tr>
<td>前年同月比</td>
<td>(0.7)</td>
<td>(0.01)</td>
<td>(0.04)</td>
<td>(0.17)</td>
<td>(0.20)</td>
<td>(0.03)</td>
<td>(0.01)</td>
<td>(0.05)</td>
<td>(0.00)</td>
<td>(0.00)</td>
<td>(0.00)</td>
<td>(0.05)</td>
</tr>
<tr>
<td>寄与度</td>
<td>0.97</td>
<td>0.01</td>
<td>0.04</td>
<td>0.17</td>
<td>0.20</td>
<td>0.03</td>
<td>0.01</td>
<td>0.05</td>
<td>0.00</td>
<td>0.00</td>
<td>0.00</td>
<td>0.02</td>
</tr>
</tbody>
</table>

* 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合
(注)（）は、前月の前年同月比及び寄与度、各寄与度は、総合指数の前年同月比に対するものである。
【結果のポイント解説】

家計調査
－ 平成30年（2018年）10月分 平成30年12月7日公表 －

【二人以上の世帯の消費支出の内訳】

二人以上の世帯の消費支出は290,396円。前年同月に比べ変動調整値で実質0.3%の減少

※ 調査方法の変更の影響による変動を調整した推計値

消費支出の内訳（二人以上の世帯）

<table>
<thead>
<tr>
<th>費目</th>
<th>金額（円）</th>
<th>実質増減率（％）</th>
<th>名目</th>
<th>実質</th>
<th>変動調整の寄与度（％）</th>
<th>摘要</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>消費支出</td>
<td>290,396</td>
<td>1.4</td>
<td>-0.3</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>2か月連続の実質減少</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>食料</td>
<td>79,016</td>
<td>1.2</td>
<td>-1.2</td>
<td>-0.33</td>
<td>野菜・海藻,肉類など</td>
<td>4か月連続の実質減少</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>住宅</td>
<td>19,163</td>
<td>-3.7</td>
<td>-3.6</td>
<td>-0.25</td>
<td>設備修繕・維持</td>
<td>2か月連続の実質減少</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>光熱・水道</td>
<td>19,394</td>
<td>2.3</td>
<td>-2.0</td>
<td>-0.13</td>
<td>ガス代,他の光熱など</td>
<td>7か月連続の実質減少</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>家具・家事用品</td>
<td>10,788</td>
<td>7.7</td>
<td>8.8</td>
<td>0.31</td>
<td>家庭用耐久財,家事雑貨など</td>
<td>2か月ぶりの実質増加</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>服及び服飾品</td>
<td>11,120</td>
<td>-7.9</td>
<td>-8.0</td>
<td>-0.34</td>
<td>洋服,シャツ・セーター類など</td>
<td>3か月ぶりの実質減少</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>保育・医療</td>
<td>13,860</td>
<td>2.1</td>
<td>1.0</td>
<td>0.05</td>
<td>保健医療用品・器具,医薬品</td>
<td>2か月ぶりの実質増加</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>通信・交通</td>
<td>43,161</td>
<td>5.5</td>
<td>3.5</td>
<td>0.50</td>
<td>交通,通信など</td>
<td>2か月ぶりの実質増加</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>教育</td>
<td>17,092</td>
<td>13.9</td>
<td>13.3</td>
<td>0.70</td>
<td>授業料,補習教育など</td>
<td>2か月ぶりの実質増加</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>費用</td>
<td>28,053</td>
<td>2.7</td>
<td>-0.2</td>
<td>-0.02</td>
<td>教養娯楽サービス,書籍・他の宣物料理</td>
<td>9か月連続の実質減少</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>その他の消費支出</td>
<td>48,749</td>
<td>-2.7</td>
<td>(-4.3)</td>
<td>(-0.75)</td>
<td>仕送り金,諸雑費など</td>
<td>3か月ぶりの実質減少</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

消費支出（季節調整実質指数）

二人以上の世帯の消費支出（季節調整値）は、前月に比べ実質1.8%の増加

【消費支出（季節調整実質指数）】

消費支出（季節調整実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2015年＝100)

注: 2018年1月分から、「交通費」のうちその他の交通費への関連品目やサービスの支出を「その他の消費支出」に含める変更事項から、各費目に含める品目を変更した。また、実質化に消費物価指数（持家帰属家賃を除く総合）を用いた。

備考: 2016年1月分から、「交通費」のうちその他の交通費への関連品目やサービスの支出を「その他の消費支出」に含める変更事項から、各費目に含める品目を変更した。また、実質化に消費物価指数（持家帰属家賃を除く総合）を用いた。
サービス産業動向調査
— 平成30年（2018年）9月分（速報） 平成30年11月30日公表 —

【結果のポイント解説】

サービス産業の売上高
・増加：「情報通信業」、「不動産業・物品賃貸業」など5産業
・減少：「生活関連サービス業・娯楽業」、「宿泊業・飲食サービス業」など4産業

サービス産業の事業従事者数
事業従事者数は、3065万人。前年同月比0.6%の増加
・増加：「教育・学習支援業」、「情報通信業」など5産業
・減少：「生活関連サービス業・娯楽業」、「学術研究・専門・技術サービス業」など4産業

月間売上高の前年同月比の推移（サービス産業計）

月間売上高の前年同月比（産業大分類別）

事業従事者数の前年同月比の推移（サービス産業計）

事業従事者数の前年同月比（産業大分類別）
【結果のポイント解説】

現時点における平成30年11月1日現在（概算値）
総人口は1億2645万人で、前年同月に比べ減少 ▲27万人 （▲0.21%）

平成30年6月1日現在（確定値）
総人口は1億2650万9千人。日本人人口は1億2433万1千人

年齢（5歳階級）、男女別人口

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢階級</th>
<th>平成30年11月1日現在（概算値） 総人口</th>
<th>平成30年6月1日現在（確定値） 総人口</th>
<th>日本人人口</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0 ～ 4歳</td>
<td>12645 6153 6492</td>
<td>126,509 61,553 64,957</td>
<td>124,331 60,504 63,827</td>
</tr>
<tr>
<td>…</td>
<td>…</td>
<td>…</td>
<td>…</td>
</tr>
<tr>
<td>75歳以上</td>
<td>572 76 109</td>
<td>5,648 743 739</td>
<td>5,636 739 539</td>
</tr>
<tr>
<td>100歳以上</td>
<td>7 1 6</td>
<td>70 9 61</td>
<td>70 9 61</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>1541 789 752</td>
<td>15,484 7,929 7,555</td>
<td>15,292 7,830 7,462</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(注)・単位未満は四捨五入してあるため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。
・平成27年国勢調査による人口を基準としている。
・月別の人口（概算値）は、算出用データの更新に伴い、5か月後に確定値となる。
住民基本台帳人口移動報告
— 平成30年（2018年）10月分 平成30年11月27日公表 —

【結果のポイント解説】

移動者数

・移動者（外国人含む）の市区町村間移動者数は、41万4928人で前年同月に比べ 2万6678人(6.9%)の増加
・移動者（外国人含む）の都道府県間移動者数は、18万6337人で前年同月に比べ 1万1645人(6.7%)の増加
・移動者（外国人含む）の都道府県内移動者数は、22万8591人で前年同月に比べ 1万5033人(7.0%)の増加
・日本人移動者の市区町村間移動者数は、36万8708人で前年同月に比べ 1万8339人(5.2%)の増加
・日本人移動者の都道府県間移動者数は、16万3296人で前年同月に比べ 7349人(4.7%)の増加
・日本人移動者の都道府県内移動者数は、20万5412人で前年同月に比べ 1万990人(5.7%)の増加

【3大都市圏】

災害（東日本大震災、平成28年熊本地震等）の影響を受けて被災地から避難した人等に係る移動については、避難先の市町村に転入の届出があった人についてのみ、移動者として計上されています。

転入者数、転出者数及び転入超過数

(注)

住民基本台帳人口移動報告
— 平成30年（2018年）10月分 平成30年11月27日公表 —
【結果のポイント解説】

個人企業経済調査
— 平成30年（2018年）7～9月期結果（確報） 平成30年11月21日公表 —

【個人企業（個人経営の事業所）の1事業所当たりの売上高及び営業利益】

○ 売上高は、「サービス業」は3期ぶりに前年同期に比べ増加、「製造業」は3期連続、「卸売業、小売業」は2期連続、「宿泊業、飲食サービス業」は6期ぶりに前年同期に比べ減少

○ 営業利益は、「サービス業」は2期ぶりに前年同期に比べ増加、「製造業」は2期ぶり、「卸売業、小売業」は3期ぶり、「宿泊業、飲食サービス業」は6期ぶりに前年同期に比べ減少

・「製造業」の売上高は、219万1千円で、前年同期に比べ、-9.9%と3期連続で減少
   営業利益は、56万8千円で、前年同期に比べ、-0.2%と2期ぶりに減少
・「卸売業、小売業」の売上高は、333万9千円で、前年同期に比べ、-8.5%と2期連続で減少
   営業利益は、35万円で、前年同期に比べ、-21.5%と3期ぶりに減少
・「宿泊業、飲食サービス業」の売上高は、214万9千円で、前年同期に比べ、-4.3%と6期ぶりに減少
   営業利益は、38万6千円で、前年同期に比べ、-12.9%と6期ぶりに減少
・「サービス業」の売上高は、123万8千円で、前年同期に比べ、+4.1%と3期ぶりに増加
   営業利益は、46万3千円で、前年同期に比べ、+2.9%と2期ぶりに増加

1事業所当たりの売上高及び営業利益の対前年同期比の推移
<table>
<thead>
<tr>
<th>年次・月次</th>
<th>労働力調査</th>
<th>消費者物価指数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>就業者</td>
<td>完全失業者</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>（万人）</td>
<td>（％）</td>
</tr>
<tr>
<td>平成28年10月</td>
<td>6644</td>
<td>6589</td>
</tr>
<tr>
<td>平成29年10月</td>
<td>6644</td>
<td>6427</td>
</tr>
<tr>
<td>平成30年10月</td>
<td>6674</td>
<td>6409</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注1）＜の内数は補完実績値又は補完推計値を用いて計算した参考値である。
（注2）平成29年から平成28年までの数値については、ベンチマーク人口を平成27年国勢調査基準に切り替えに伴う変動を考慮し、比率を除き、平成27年国勢調査基準による変動を考慮している。
（注3）季節調整値は、毎年1年分結果公表直後に平成12月月別の結果を追加して再計算される。このため、平成29年12月の季節調整値は、平成30年1月分結果公表時に一部改定されている。消費物価指数は平成28年7月基準に改定した。
（注4）消費者価格指数は平成28年7月基準に改定した。

（平成27年 = 100）

対前年差（万人）：対前年差（％）

平成28年10月：20（20）

平成29年10月：-10（-18）

平成30年10月：-10（-20）

対前年差（％）：-0（-0）

対前年差（％）：-0（-0）

対前年差（％）：-0（-0）
<table>
<thead>
<tr>
<th>年次・月次</th>
<th>家計消費状況調査 8</th>
<th>家計消費状況調査 8</th>
<th>消費動向指数 (CTI) 9</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>(二人以上の世帯)</td>
<td>(勤労者世帯)</td>
<td>(総世帯)</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(総世帯)</td>
<td>(総世帯)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>消費支出</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>実収入</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>可処分所得</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>消費支出</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>非消費支出</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>自動車</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>アパート</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>インターネット 9</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>家計消費支出の変動</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(注) 1. 家計消費調査及び家計消費状況調査は、1世帯当たり1か月間の収支額を調査するものである。...

(注) 9. 家計消費動向指数は、消費動向指数を推計するものである。...

(注) 10. 単位は円で、実質価格ベースで計算したものを示している。

(注) 11. 平成30年1月以降の「対前年同月比」欄の太字の値は、平成30年1月に行った調査で使用する家計簿の改正の影響による変動を調整した変動調整値である。

(注) 12. 平成30年1月以降の「家計調査及び家計消費状況調査は、1世帯当たり1か月間の収支額を調査するものである。...

(注) 13. 家計消費動向指数は、消費動向指数を推計するものである。...

(注) 14. 家計消費動向指数は、消費動向指数を推計するものである。...

(注) 15. 家計消費動向指数は、消費動向指数を推計するものである。...

主要統計時系列データ（月次系列）
## 主要統計時系列データ（月次系列）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年次・月次</th>
<th>サービス産業動向調査</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>売上高</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>うち、主な産業①②</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>医療・福祉</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>宿泊業、飲食</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>サービス業（他に分類されないもの）</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>運輸業、物流業</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>生活関連サービス業、娯楽業</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(百万円)</td>
</tr>
<tr>
<td>平成30年月</td>
<td>31,782,158</td>
</tr>
<tr>
<td>平成29年月</td>
<td>31,495,789</td>
</tr>
<tr>
<td>平成28年月</td>
<td>31,172,152</td>
</tr>
<tr>
<td>平成27年月</td>
<td>30,827,729</td>
</tr>
<tr>
<td>平成26年月</td>
<td>30,468,805</td>
</tr>
<tr>
<td>平成25年月</td>
<td>30,106,808</td>
</tr>
<tr>
<td>平成24年月</td>
<td>29,708,638</td>
</tr>
<tr>
<td>平成23年月</td>
<td>29,254,369</td>
</tr>
<tr>
<td>平成22年月</td>
<td>28,773,725</td>
</tr>
<tr>
<td>平成21年月</td>
<td>28,269,787</td>
</tr>
<tr>
<td>平成20年月</td>
<td>27,746,804</td>
</tr>
<tr>
<td>平成19年月</td>
<td>27,204,823</td>
</tr>
<tr>
<td>平成18年月</td>
<td>26,632,189</td>
</tr>
<tr>
<td>平成17年月</td>
<td>26,034,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成16年月</td>
<td>25,398,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成15年月</td>
<td>24,745,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成14年月</td>
<td>24,073,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成13年月</td>
<td>23,398,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成12年月</td>
<td>22,723,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成11年月</td>
<td>22,034,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成10年月</td>
<td>21,345,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成9年月</td>
<td>20,652,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成8年月</td>
<td>20,045,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成7年月</td>
<td>19,432,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成6年月</td>
<td>18,823,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成5年月</td>
<td>18,207,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成4年月</td>
<td>17,593,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成3年月</td>
<td>16,972,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成2年月</td>
<td>16,353,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成1年月</td>
<td>15,723,829</td>
</tr>
<tr>
<td>平成0年月</td>
<td>15,094,829</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 注

（注1）pの付された数値は速報値
（注2）年の付された数値は、平成24年での1〜12月の合計値、平成25年からの1月当たりの平均値
（注3）1〜12月の合計値、平成25年からの1月当たりの平均値
（注4）平成26年からの1月の値を用いて計算している。
<table>
<thead>
<tr>
<th>年次・月次</th>
<th>人口推計</th>
<th>住民基本台帳人口推移報告</th>
<th>主要統計時系列データ(月次系列)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>平成29年10月</td>
<td>126,706</td>
<td>15,592</td>
<td>75,962</td>
</tr>
<tr>
<td>平成30年1月</td>
<td>126,933</td>
<td>15,780</td>
<td>76,562</td>
</tr>
<tr>
<td>平成29年10月</td>
<td>126,706</td>
<td>15,592</td>
<td>75,962</td>
</tr>
<tr>
<td>平成30年1月</td>
<td>126,933</td>
<td>15,780</td>
<td>76,562</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年次・月次</td>
<td>移動者(住民基本台帳)</td>
<td>日本人移動者</td>
<td>転入超過者</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>-----------------</td>
<td>-------------</td>
<td>------------</td>
</tr>
<tr>
<td>平成28年10月</td>
<td>126,933</td>
<td>15,780</td>
<td>76,562</td>
</tr>
<tr>
<td>平成29年10月</td>
<td>126,706</td>
<td>15,592</td>
<td>75,962</td>
</tr>
<tr>
<td>平成29年10月</td>
<td>126,706</td>
<td>15,592</td>
<td>75,962</td>
</tr>
<tr>
<td>平成30年1月</td>
<td>126,933</td>
<td>15,780</td>
<td>76,562</td>
</tr>
<tr>
<td>平成29年10月</td>
<td>126,706</td>
<td>15,592</td>
<td>75,962</td>
</tr>
<tr>
<td>平成30年1月</td>
<td>126,933</td>
<td>15,780</td>
<td>76,562</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年次・四半期</td>
<td>労働力調査&lt;注17, 18&gt;</td>
<td>家計調査&lt;注19&gt;</td>
<td>個人企業経済調査&lt;注20&gt;</td>
</tr>
<tr>
<td>----------</td>
<td>----------------</td>
<td>----------------</td>
<td>-------------------</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>職正職・従業員</td>
<td>非正職職員・従業員</td>
<td>正職職員・従業員</td>
</tr>
<tr>
<td>職正職職員・従業員</td>
<td>非正職職員・従業員</td>
<td>正職職員・従業員</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年次</td>
<td>(万人)</td>
<td>(%)</td>
<td>(円)</td>
</tr>
<tr>
<td>18年</td>
<td>3415</td>
<td>1678</td>
<td>33.0</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>3449</td>
<td>1735</td>
<td>33.5</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>3410</td>
<td>1765</td>
<td>34.1</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>3395</td>
<td>1727</td>
<td>33.7</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>3374</td>
<td>1763</td>
<td>34.4</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>&lt;3355&gt;</td>
<td>&lt;1812&gt;</td>
<td>&lt;351&gt;</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>3345</td>
<td>1816</td>
<td>35.2</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>3302</td>
<td>1910</td>
<td>36.7</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>3288</td>
<td>1967</td>
<td>37.4</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>3317</td>
<td>1986</td>
<td>37.5</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>3367</td>
<td>2023</td>
<td>37.5</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>3423</td>
<td>2036</td>
<td>37.3</td>
</tr>
<tr>
<td>平成28年</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7〜9月期</td>
<td>3371</td>
<td>2033</td>
<td>37.6</td>
</tr>
<tr>
<td>10〜12月期</td>
<td>3383</td>
<td>2050</td>
<td>37.7</td>
</tr>
<tr>
<td>平成29年</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1〜3月期</td>
<td>3385</td>
<td>2017</td>
<td>37.3</td>
</tr>
<tr>
<td>4〜6月期</td>
<td>3422</td>
<td>2018</td>
<td>37.1</td>
</tr>
<tr>
<td>7〜9月期</td>
<td>3435</td>
<td>2050</td>
<td>37.4</td>
</tr>
<tr>
<td>10〜12月期</td>
<td>3452</td>
<td>2061</td>
<td>37.4</td>
</tr>
<tr>
<td>平成30年</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1〜3月期</td>
<td>3423</td>
<td>2117</td>
<td>38.2</td>
</tr>
<tr>
<td>4〜6月期</td>
<td>3464</td>
<td>2095</td>
<td>37.8</td>
</tr>
<tr>
<td>7〜9月期</td>
<td>3500</td>
<td>2118</td>
<td>37.7</td>
</tr>
<tr>
<td>対前年度差(万人)</td>
<td>対前年度差(%)</td>
<td>対前年度差(実質)(%)</td>
<td>対前年度差(実質)(%)</td>
</tr>
<tr>
<td>平成18年</td>
<td>40</td>
<td>44</td>
<td>0.4</td>
</tr>
<tr>
<td>19</td>
<td>34</td>
<td>57</td>
<td>0.5</td>
</tr>
<tr>
<td>20</td>
<td>-39</td>
<td>30</td>
<td>0.6</td>
</tr>
<tr>
<td>21</td>
<td>-15</td>
<td>-38</td>
<td>-0.4</td>
</tr>
<tr>
<td>22</td>
<td>-21</td>
<td>36</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>23</td>
<td>&lt;19x&gt;</td>
<td>&lt;49&gt;</td>
<td>&lt;0.7&gt;</td>
</tr>
<tr>
<td>24</td>
<td>&lt;10&gt;</td>
<td>&lt;4&gt;</td>
<td>&lt;0.7&gt;</td>
</tr>
<tr>
<td>25</td>
<td>-43</td>
<td>94</td>
<td>1.5</td>
</tr>
<tr>
<td>26</td>
<td>-14</td>
<td>57</td>
<td>0.7</td>
</tr>
<tr>
<td>27</td>
<td>29</td>
<td>18</td>
<td>0.1</td>
</tr>
<tr>
<td>28</td>
<td>50</td>
<td>37</td>
<td>0.0</td>
</tr>
<tr>
<td>29</td>
<td>56</td>
<td>13</td>
<td>-0.2</td>
</tr>
<tr>
<td>対前年度差(万人)</td>
<td>対前年度差(%)</td>
<td>対前年度差(実質)(%)</td>
<td>対前年度差(実質)(%)</td>
</tr>
<tr>
<td>平成29年</td>
<td>64</td>
<td>17</td>
<td>-0.2</td>
</tr>
<tr>
<td>10〜12月期</td>
<td>69</td>
<td>11</td>
<td>-0.3</td>
</tr>
<tr>
<td>平成30年</td>
<td>38</td>
<td>100</td>
<td>0.9</td>
</tr>
<tr>
<td>4〜6月期</td>
<td>62</td>
<td>77</td>
<td>0.5</td>
</tr>
<tr>
<td>7〜9月期</td>
<td>65</td>
<td>68</td>
<td>0.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注17: 詳細集計
注18: 内の実数及び新着は補足推計値で示されている。
注19: 平成30年1〜3月期以降の「対前年同期比」欄の太字の値は、平成30年4月以降の調査で使用する家計簿の改正の影響による変動を調整したものである。
注20: 個人企業経済調査は平成30年1月に行った調査で使用する家計簿の改正の影響による変動を調整したものである。
総務省統計局統計調査部国勢統計課環境整備企画官 水澤 知洋

「住民基本台帳人口移動報告」は、総務省統計局が、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）の規定に基づき提供を受けた、毎月の転入者の情報を取りまとめたもので、2012年に外国人が住民基本台帳に登録されるようになったことに関連して、2014年以降の基本集計結果では、「日本人移動者数」に加えて、「移動者数（外国人を含む）」も公表しています。今回は、これらの統計表を用いて、近年、増加傾向にある外国人について、日本国内の都道府県間の移動状況を、2017年結果を中心に紹介します。なお、住民基本台帳人口移動報告では、外国人移動者のみを対象とした統計表は集計していませんが、「移動者数（外国人を含む）」と「日本人移動者数」の差が「外国人移動者数」となります。

都道府県間移動者数

外国人の都道府県間移動者数の推移をみると、2014年は14万5535人、2015年は16万8042人、2016年は18万5015人と年々増加しており、2017年は21万7754人で、前年に比べて3万2739人（17.7%）の増加となっています。2017年結果を年齢5歳階級別にみると、25～29歳が5万9696人と最も多く、次いで20～24歳が5万8527人、30～34歳が3万2968人の順となっており、この3つの年齢階級で、外国人移動者数に占める割合が69.4%（日本人は51.3%）となっており、生産年齢人口に該当する15～64歳では20万8116人で、95.6%（日本人は84.7%）となっています。（表1、図1）

【表1】外国人の年齢5歳階級別都道府県間移動者数（2014～2017年）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢</th>
<th>2014年</th>
<th>2015年</th>
<th>2016年</th>
<th>2017年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>0～4</td>
<td>3,725</td>
<td>4,104</td>
<td>4,139</td>
<td>4,408</td>
</tr>
<tr>
<td>5～9</td>
<td>1,968</td>
<td>2,019</td>
<td>2,192</td>
<td>2,381</td>
</tr>
<tr>
<td>10～14</td>
<td>1,194</td>
<td>1,334</td>
<td>1,359</td>
<td>1,498</td>
</tr>
<tr>
<td>15～19</td>
<td>8,002</td>
<td>9,754</td>
<td>11,525</td>
<td>14,041</td>
</tr>
<tr>
<td>20～24</td>
<td>33,938</td>
<td>41,178</td>
<td>47,247</td>
<td>58,527</td>
</tr>
<tr>
<td>25～29</td>
<td>37,078</td>
<td>44,517</td>
<td>50,520</td>
<td>59,696</td>
</tr>
<tr>
<td>30～34</td>
<td>23,405</td>
<td>26,153</td>
<td>28,146</td>
<td>32,968</td>
</tr>
<tr>
<td>35～39</td>
<td>13,582</td>
<td>14,941</td>
<td>15,244</td>
<td>17,460</td>
</tr>
<tr>
<td>40～44</td>
<td>8,855</td>
<td>9,241</td>
<td>9,401</td>
<td>9,783</td>
</tr>
<tr>
<td>45～49</td>
<td>5,536</td>
<td>6,130</td>
<td>6,376</td>
<td>7,011</td>
</tr>
<tr>
<td>50～54</td>
<td>3,703</td>
<td>4,060</td>
<td>4,075</td>
<td>4,524</td>
</tr>
<tr>
<td>55～59</td>
<td>2,111</td>
<td>2,199</td>
<td>2,319</td>
<td>2,600</td>
</tr>
<tr>
<td>60～64</td>
<td>1,134</td>
<td>1,245</td>
<td>1,299</td>
<td>1,503</td>
</tr>
<tr>
<td>65歳以上</td>
<td>1,100</td>
<td>1,155</td>
<td>1,206</td>
<td>1,348</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【図1】外国人の年齢5歳階級別都道府県間移動者数（2014～2017年）

都道府県別転入・転出の状況

外国人の転入者数を都道府県別にみると、2017年は、東京都への転入者数が3万4617人と最も多く、次いで埼玉県（2万3324人）、神奈川県（1万8211人）となっているほか、愛知県、千葉県、大阪府が1万人を超えています。これら6都府県への転入者数の合計は11万9672人となり、外国人転入者数の55.0%を占めています。

前年に比べて外国人転入者数が最も増加しているのは埼玉県で3324人の増加、次いで東京都（2755人増）、神奈川県（2387人増）、千葉県（2072人増）、静岡県（1719人増）、三重県（1697人増）などとなっており、全ての都道府県で増加しています。

外国人の転出者数を都道府県別にみると、東京都からの転出者数が3万5535人と最も多く、次いで埼玉県（2万8527人）、神奈川県（2万3817人）、千葉県（2072人増）、静岡県（1719人増）、三重県（1697人増）などとなっているが、全ての都道府県で増加しています。

前年に比べて外国人転出者数が最も増加しているのは静岡県で1719人の増加、次いで愛知県（1377人増）、栃木県（1297人増）、群馬県（1251人増）、福島県（1242人増）など、28都府県で転出超過となっています。

転出超過数1を都道府県別にみると、福島県が3630人と最も多く、次いで千葉県（3492人）、栃木県（3032人）、
広島県（2620人）、東京都（2374人）など19都府県で転出超過となっており、東京都及び奈良県は、外国人の移動者数の公表を開始した2014年以降、初めて転入超過から転出超過に転じました。

（表2）

<table>
<thead>
<tr>
<th>都道府県</th>
<th>転入者数</th>
<th>転出者数</th>
<th>転入者数</th>
<th>転出者数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>全国</td>
<td>217,754</td>
<td>185,015</td>
<td>217,754</td>
<td>185,015</td>
</tr>
<tr>
<td>北海道</td>
<td>3,215</td>
<td>2,534</td>
<td>3,215</td>
<td>2,534</td>
</tr>
<tr>
<td>北海道</td>
<td>696</td>
<td>528</td>
<td>696</td>
<td>528</td>
</tr>
<tr>
<td>岩手県</td>
<td>765</td>
<td>620</td>
<td>765</td>
<td>620</td>
</tr>
<tr>
<td>青森県</td>
<td>2,436</td>
<td>1,897</td>
<td>2,436</td>
<td>1,897</td>
</tr>
<tr>
<td>宮城県</td>
<td>578</td>
<td>493</td>
<td>578</td>
<td>493</td>
</tr>
<tr>
<td>秋田県</td>
<td>1,910</td>
<td>1,486</td>
<td>1,910</td>
<td>1,486</td>
</tr>
<tr>
<td>山形県</td>
<td>23,324</td>
<td>20,000</td>
<td>23,324</td>
<td>20,000</td>
</tr>
<tr>
<td>福島県</td>
<td>4,555</td>
<td>3,529</td>
<td>4,555</td>
<td>3,529</td>
</tr>
<tr>
<td>茨城県</td>
<td>6,641</td>
<td>5,695</td>
<td>6,641</td>
<td>5,695</td>
</tr>
<tr>
<td>栃木県</td>
<td>3,036</td>
<td>4,368</td>
<td>3,036</td>
<td>4,368</td>
</tr>
<tr>
<td>群馬県</td>
<td>7,001</td>
<td>5,589</td>
<td>7,001</td>
<td>5,589</td>
</tr>
<tr>
<td>埼玉県</td>
<td>23,247</td>
<td>20,900</td>
<td>23,247</td>
<td>20,900</td>
</tr>
<tr>
<td>千葉県</td>
<td>16,041</td>
<td>13,969</td>
<td>16,041</td>
<td>13,969</td>
</tr>
<tr>
<td>東京都</td>
<td>34,617</td>
<td>31,862</td>
<td>34,617</td>
<td>31,862</td>
</tr>
<tr>
<td>神奈川県</td>
<td>7,001</td>
<td>6,563</td>
<td>7,001</td>
<td>6,563</td>
</tr>
<tr>
<td>新潟県</td>
<td>1,910</td>
<td>1,486</td>
<td>1,910</td>
<td>1,486</td>
</tr>
<tr>
<td>北海道</td>
<td>2,436</td>
<td>1,897</td>
<td>2,436</td>
<td>1,897</td>
</tr>
<tr>
<td>東京都</td>
<td>16,041</td>
<td>13,969</td>
<td>16,041</td>
<td>13,969</td>
</tr>
<tr>
<td>神奈川県</td>
<td>7,001</td>
<td>5,589</td>
<td>7,001</td>
<td>5,589</td>
</tr>
<tr>
<td>福島県</td>
<td>23,324</td>
<td>20,000</td>
<td>23,324</td>
<td>20,000</td>
</tr>
<tr>
<td>茨城県</td>
<td>23,247</td>
<td>20,900</td>
<td>23,247</td>
<td>20,900</td>
</tr>
<tr>
<td>茨城県</td>
<td>3,036</td>
<td>4,368</td>
<td>3,036</td>
<td>4,368</td>
</tr>
<tr>
<td>群馬県</td>
<td>7,001</td>
<td>5,589</td>
<td>7,001</td>
<td>5,589</td>
</tr>
<tr>
<td>埼玉県</td>
<td>23,247</td>
<td>20,900</td>
<td>23,247</td>
<td>20,900</td>
</tr>
<tr>
<td>千葉県</td>
<td>16,041</td>
<td>13,969</td>
<td>16,041</td>
<td>13,969</td>
</tr>
<tr>
<td>東京都</td>
<td>34,617</td>
<td>31,862</td>
<td>34,617</td>
<td>31,862</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注: 1) 転入者数から転出者数を差し引いた数。なお、転出超過数がマイナスの場合は、転出超過数。

表2【外国人の都道府県別転入者数，転出者数及び転入超過数（2016年，2017年）】
### 表示予定（平成30年12月〜31年1月）

<table>
<thead>
<tr>
<th>12月7日</th>
<th>家計消費状況調査（支出関連項目:平成30年(2018年)10月分）公表</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>12月14日</td>
<td>家計消費状況調査（支出関連項目:平成30年10月分）公表</td>
</tr>
<tr>
<td>12月21日</td>
<td>家計消費状況調査（支出関連項目:平成30年11月分）公表</td>
</tr>
<tr>
<td>12月28日</td>
<td>家計消費状況調査（支出関連項目:平成30年12月分）公表</td>
</tr>
<tr>
<td>1月1日</td>
<td>家計消費状況調査（支出関連項目:平成30年1月分）公表</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 人口推計
- 人口推計（平成30年7月1日現在確定値及び平成31年1月1日現在概算値）公表
- 人口推計（平成30年8月1日現在確定値及び平成31年1月1日現在概算値）公表
- 人口推計（平成30年9月1日現在確定値及び平成31年1月1日現在概算値）公表
- 人口推計（平成30年10月1日現在確定値及び平成31年1月1日現在概算値）公表
- 人口推計（平成30年11月1日現在確定値及び平成31年1月1日現在概算値）公表
- 人口推計（平成30年12月1日現在確定値及び平成31年1月1日現在概算値）公表

### 家計調査
- 家計消費動向指数（CTI）平成30年10月分公表
- 家計消費動向指数（CTI）平成30年11月分公表
- 家計消費動向指数（CTI）平成30年12月分公表

### 消費者物価指数
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)10月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)11月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)12月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表

### 住民基本台帳
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)10月分）公表
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)11月分）公表
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)12月分）公表

### 労働力調査
- 労働力調査（基本集計）平成30年10月分公表
- 労働力調査（基本集計）平成30年11月分公表
- 労働力調査（基本集計）平成30年12月分公表
- 労働力調査（基本集計）平成30年1月分公表
- 労働力調査（基本集計）平成30年2月分公表

### サービス産業動向調査
- サービス産業動向調査（平成30年10月分速報及び平成30年7月分速報）公表
- サービス産業動向調査（平成30年11月分速報及び平成30年8月分速報）公表
- サービス産業動向調査（平成30年11月分速報及び平成30年8月分速報）公表
- サービス産業動向調査（平成30年11月分速報及び平成30年8月分速報）公表
- サービス産業動向調査（平成30年11月分速報及び平成30年8月分速報）公表

### 家計消費動向指数（CTI）
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)11月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表

### 家計消費動向指数（CTI）
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表

### 住民基本台帳
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)12月分）公表
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)1月分）公表
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)1月分）公表
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)1月分）公表
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)1月分）公表

### 家計消費動向指数（CTI）
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表
- 消費者物価指数（全国:平成30年(2018年)1月分）公表

### 住民基本台帳
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)12月分）公表
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)1月分）公表
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)1月分）公表
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)1月分）公表
- 住民基本台帳人口移動報告（平成30年(2018年)1月分）公表
# 所管統計の利用案内

## 人口に関する統計

- 国勢調査  (国内の人口及び世帯の実態を把握する)
  
- 住民基本台帳人口移動報告  (住民基本台帳に基づき、各月の国内の都道府県、大都市間の転入・転出の状況を明らかにする)
  
- 人口推計  (国勢調査によると人口が、各月の人口の動いて他の人口関連資料から得て、毎月（日現在の人口を算出する）
  
## 住宅・土地に関する統計

- 住宅・土地統計調査  (住宅及び世帯の居住状況等の実態を把握する)
  
## 労働に関する統計

- 労働力調査  (完全失業率など雇用・失業の実態を毎月明らかにする)
  
- 就業構造基本調査  (就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する状況を明らかにする)
  
## 社会生活に関する統計

- 社会生活基本調査  (国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにする)
  
## 事業所・企業に関する統計

- 経済センサス  (我が国全体の産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業の事前情報整理を整備する)
  
- 個人企業経済調査  (個人経営の事業所・個人企業の経営実態を明らかにする)
  
- サービス就業統計調査  (サービス業全体の生産及び雇用の動向を把握する)
  
## 科学技術に関する統計

- 科学技術研究調査  (科学技術に関する研究活動の状態を調査し、科学技術振興に関する状況を明らかにする)
  
## 家計に関する統計

- 家計調査  (世帯における家計収支の実態を毎月把握する)
  
- 家計消費状況調査  (家計調査を補完し、購入頻度が少ない高額品・サービスなどの消費や、①(関連品)の消費実態を定着的に把握する)
  
- 全国消費実態調査  (全国及び地域別に世帯の消費、所得、資産に係る水準、構造、分布などを明らかにする)
  
## 物価に関する統計

- 小売物価統計調査  (国民の消費生活上重要な商品の小売価格、サービスの料金及び客費を調査し、消費者物価指数その他の物価に関する状況を明らかにする）
  
- 消費者物価指数  (小売価格の変動を対象とし、消費者物価指数を算出する)

## 検索

統計局又は調査名
統計ヘッドライン—統計局月次レポートー No. 106
平成 30 年 12 月

編集・発行
総務省統計局
〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号
電話 （03）5273-2020 （代表）
インターネット https://www.stat.go.jp/info/headline/index.html

問合せ先 総務省統計局統計利用推進課情報提供第一係
電話 （03）5273-1160
メールアドレス y-teikyou1@soumu.go.jp